

第1回幹事会各県説明資料(抜粋)

神奈川県資料 抜粋①

大都市圏域との連携強化や圏域内外の人流・物流の拡大を通じた産業イノベーションの創出

実現したいビジョン

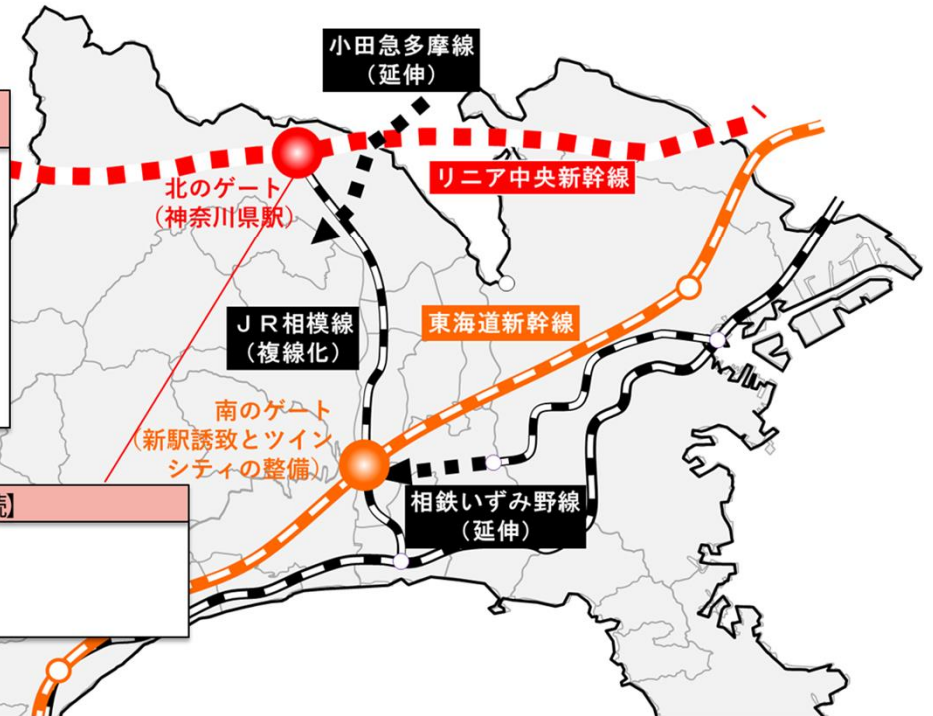
○リニア神奈川県駅を核とした「北のゲート」と東海道新幹線の新駅誘致を目指す「南のゲート」を位置づけ、交通ネットワークの充実・強化を目指す。

1 交通網の整備促進【継続】

- <神奈川県>
1-1 東海道新幹線新駅の誘致と「環境共生モデル都市 ツインシティ」の整備【継続】
1-2 J R相模線の複線化【継続】
1-3 相鉄いずみ野線の延伸【継続】
<神奈川県・相模原市>
1-4 小田急多摩線の延伸【継続】
<相模原市>
1-5 広域交通ネットワークの強化等に向けた道路整備【継続】

2 首都圏南西部の広域交流拠点の形成【継続】

- <相模原市>
2-1 橋本駅周辺のまちづくりの推進【継続】
2-2 相模原駅周辺のまちづくりの推進【継続】



大都市圏域との連携強化や圏域内外の人流・物流の拡大を通じた産業イノベーションの創出

実現したいビジョン

○ さがみロボット産業特区を活用し、神奈川県駅を中心として先端技術の拠点づくりを行う。アクセスが見込まれることから、リニアによる誘客及び連携エリアの魅力づくりに取り組む。

3 さがみロボット産業特区を生かし、先端技術の拠点の形成【新規・継続】

- <神奈川県>
3-1 生活支援ロボット等の実用化及び社会実装の促進【継続】
3-2 県民生活に資する有望なロボットやドローンの開発プロジェクトを支援【継続】
3-3 各介護現場に適した介護支援等ロボットの実証及び効果検証【新規】
<相模原市>
3-4 産業用ロボット等の導入支援【継続】
3-5 新製品・新技術等に関する研究開発の支援【継続】
3-6 先端技術の実証・実装に向けた環境の整備【新規】
3-7 次世代モビリティの実証実験【新規】
3-8 ドローン拠点の整備及び実証実験【新規】



4 首都圏における新たなイノベーションハブの形成と新産業の創造【継続】

- <相模原市>
4-1 イノベーション創出促進拠点の運営【継続】
4-2 オープンイノベーションプログラムの実施【継続】
4-3 アクセラレーションプログラムの実施【継続】



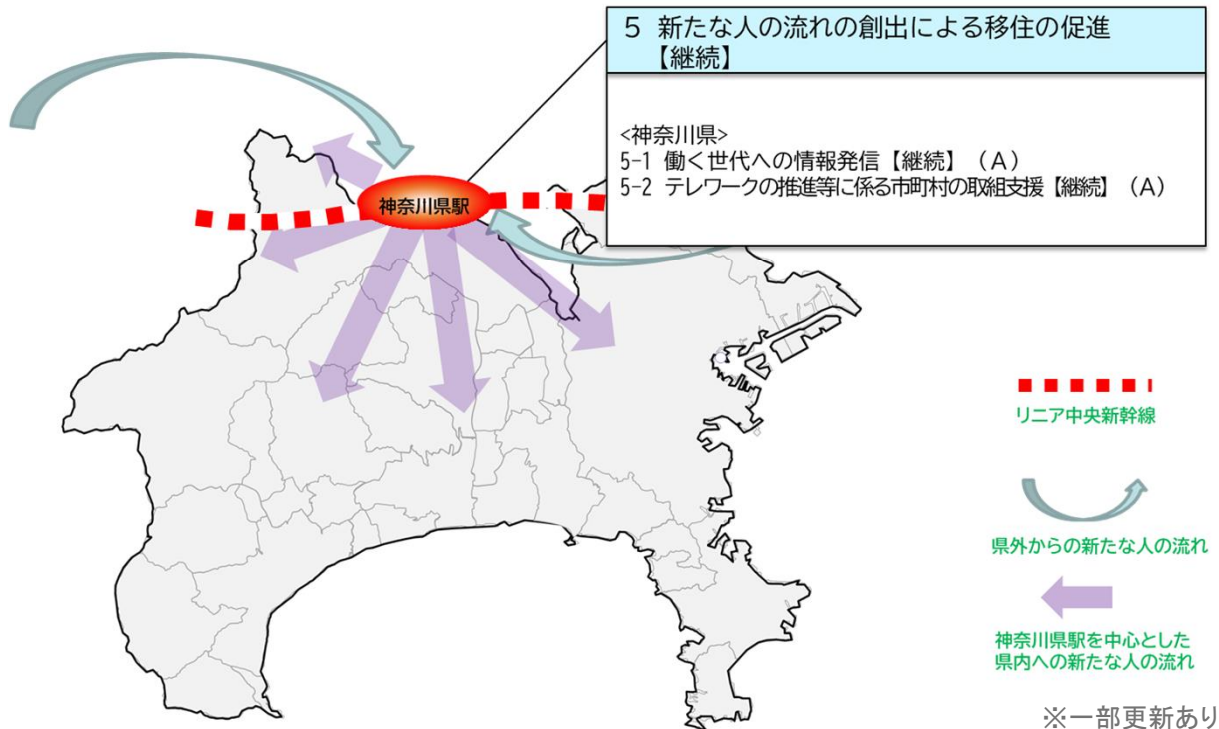
イノベーション創出拠点「FUN+TEC LABO」
※神奈川県駅周辺に建設中（R6.3月25日開業）

神奈川県資料 抜粋②

新たな暮らし方・働き方の先導モデルの形成

実現したいビジョン

○働く世代に対し、リニア神奈川県駅を核とした多様な働き方・暮らし方を提供することにより、本県への人の流れを創出し、移住を促進する。



全国各地との時間距離の短縮効果を生かしたビジネス・観光交流、商圈・販路の拡大等

実現したいビジョン

- 新たな県内周遊の玄関口となる「神奈川県駅」を情報発信の拠点にすることにより、さらなる県内全域の観光振興を図る。
- 県では、横浜・鎌倉・箱根に次ぐ、第4の国際観光地づくりとして、県内3地域(城ヶ島・三崎、大山、大磯)を認定し、支援をしているが、令和6年度からは、この3地域について、点から面へと広がりを持たせた広域観光圏(かながわ観光連携エリア)の形成を促し、地域が主体的に行う取組への支援を予定している。
- この3地域のうち、大山地域が拠点となる「観光連携エリア」(※)は、多様な観光資源を有する地域であり、「神奈川県駅」からのアクセスが見込まれることから、リニア活用によるさらなる誘客及び連携エリアの魅力づくりに取り組む。
※ エリアを形成する地域は、6年度に決定予定。
- 既に広域観光圏の取組を開始している「県央やまなみ地域」(厚木市、秦野市、伊勢原市、愛川町、清川村)を想定
- 東京圏や中京圏からの速達性を活かした連携により、文化芸術のちからで、ヒト・モノを引き付ける魅力を高め、「神奈川県駅」を「降りたくなる駅」にすることを目指す。

6 神奈川県駅を基軸とした神奈川県の観光振興の促進【新規】

- <神奈川県>
- 6-1 県内全域の観光振興の促進【新規】(C)
 - 6-2 「観光連携エリア」の観光振興の促進【新規】(C)
 - 6-3 「観光連携エリア」へのアクセス及びエリア内の周遊性の強化【新規】(C)

7 時間距離の短縮効果を生かした文化芸術による新たな賑わいの創出【新規】

- <神奈川県>
- 7-1 神奈川県駅周辺について、「文化・芸術」の要素が入った地域活性化の取組の支援【新規】(A)
 - 7-2 民間事業者等が設置する集客力のあるエンターテインメントが誘致可能なコンベンションホール等の建設支援【新規】(A～B)

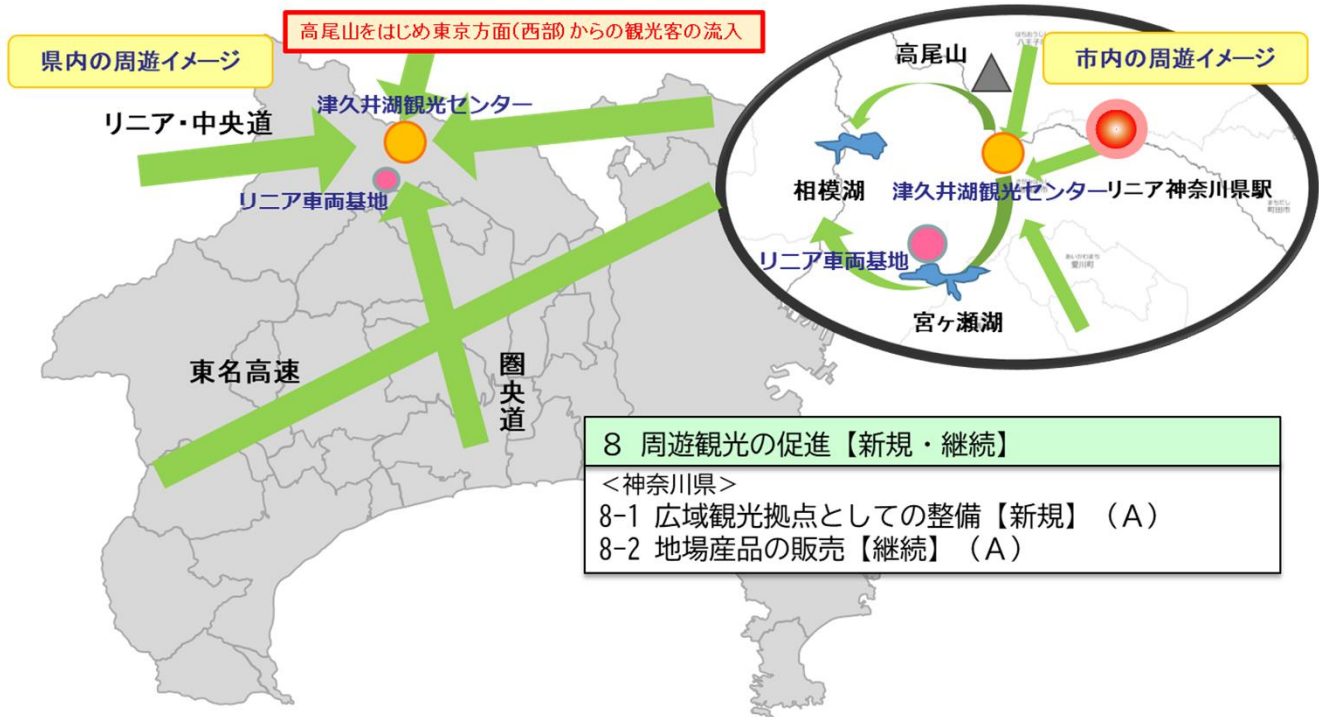


神奈川県資料 抜粋③

全国各地との時間距離の短縮効果を生かしたビジネス・観光交流、商圈・販路の拡大等

実現したいビジョン

- 「神奈川県駅」を核とした交通ネットワークの充実・強化を活かし、津久井地域へ人を呼び込む。
- 「中央道」「東名高速」「リニア」の東西ラインを縦断する「圏央道」の相模原ICがあり、東京方面や山梨方面からの観光客に対する県北部の玄関口となる津久井地域において、本県の魅力を発信し、周遊観光等に繋げるための拠点を整備する。



山梨県資料 抜粋

実現したいビジョン

〇リニア中央新幹線の開業を見据え、県民の生活基盤を強く安心できるものにする「ふるさと強靱化」、物理的な面とともに意識の上での開化も進め、国内外全ての人に対して開かれた『開の国』づくり、それらの先に、県民一人ひとりに豊かさがもれなく届けられる仕組みをもった「豊かさ共創社会」を築き上げていく。

■【施策1】高速道路ネットワーク等の整備の推進及び 県内各地域をつなぐ道路ネットワーク整備の推進

1. 中部横断自動車道(長坂・八千穂)未着工区間の事業化【継続】
2. 新山梨環状道路(北部区間・東部区間)の整備【継続】
3. 新たな御坂トンネルなど、拠点間のアクセス向上を図る道路整備【継続】

■【施策2】リニア駅周辺における広域的な交通結節機能の構築

1. リニア駅北側の交通広場等の整備【継続】
2. 甲府中央スマートIC(仮称)の整備【継続】

■【施策3】リニア駅前エリアにおけるまちづくり

1. 駅前エリアにおける基盤施設の整備【新規】
2. 駅前エリアにおける民間活用地の整備【新規】

■【施策4】「テストベッドの聖地やまなし」の展開と社会実装の支援(県内全域)

1. スタートアップ企業等による実証実験や社会実装の支援【継続】
2. 「テストベッドの聖地やまなし」ブランドプロモーション【継続】
3. デジタルデータ活用に向けた基盤整備【新規】

■【施策5】水素エネルギー社会実現に向けた実証研究、 次世代エネルギーシステムの構築(甲府市米倉山)

1. P2Gシステムの実証展開によるグリーントランスフォーメーションの推進【継続】



長野県資料 抜粋

実現したいビジョン

○長野県の地勢等の強みを最大限に発揮し、近隣県と連担しながら、リニア開業の効果を全県下に拡大。
長野県から「多極分散型モデル」・「新たな暮らし働き方の先導モデル」を形成し、「広域中核地方圏」における新たな価値を創造。

■1 多極分散型のモデルとして長野県 伊那谷地域に実証都市圏域を先行形成

■2 広域的な交通体系の構築

1. 本州中央部広域交流圏の形成【継続】
2. リニア関連道路の整備推進【継続】
3. 持続可能な地域公共交通の確保・維持【新規】【継続】
4. 駅前空間及び駅周辺の次世代モビリティ導入に向けた検討【新規】【継続】
5. リニア二次交通から三次交通への結節点の整備促進【新規】

■3 次世代先端産業等へのチャレンジ

1. 「エス・バード」を拠点とした次世代産業の創出・推進【継続】
2. 「アクア・リジェネレーション(ARG)」の推進【新規】
3. AI・IoT等の新たなテクノロジーの活用【継続】
4. 食品産業の高付加価値化、地域循環型新商品開発の促進及び製造企業集積【継続】

■4 世界に選ばれる観光地域づくりと 広域観光の推進

1. 世界水準の山岳高原観光地づくり【継続】
2. サステナブルなインバウンド観光地づくり【継続】
3. サイクルツーリズム(スポーツツーリズム)の推進【継続】
4. 持続可能なスロツーリズムの構築【継続】
5. 伊那谷地域の山岳高原観光地域づくりの推進【新規】



実現したいビジョン

○長野県の地勢等の強みを最大限に発揮し、近隣県と連担しながら、リニア開業の効果を全県下に拡大。
長野県から「多極分散型モデル」・「新たな暮らし働き方の先導モデル」を形成し、「広域中核地方圏」における新たな価値を創造。

■5 持続可能な環境先進地域づくり

1. 木曽谷・伊那谷フォレストバレーの形成【新規】
2. 再生可能エネルギーの創出支援【継続】
3. エネルギー自立地域の創出支援【継続】
4. リニア駅前広場における省エネ・創エネの取組推進【継続】

■6 豊かな自然環境と独自の文化 などを活用した教育・学びの 先進地域づくり

1. 「信州やまほいく(信州型自然保育)」の普及推進【継続】
2. 信州自然留学(「山村留学」)の取組推進【継続】
3. 特色ある総合学習の実践【継続】
4. 文化・スポーツの振興、文化・スポーツ施設の整備の検討【新規】
5. 大学のあるまちづくりを推進【継続】

■7 新たな暮らし働き方の先導 モデルの形成

1. 信州リゾートテレワーク、二地域居住の推進【継続】
2. 企業との共創による地域の魅力向上を推進【継続】
3. 女性・若者が働きやすい職場づくりを推進【継続】

■8 市町村とともにリニア中間駅 圏域のまちづくりを推進

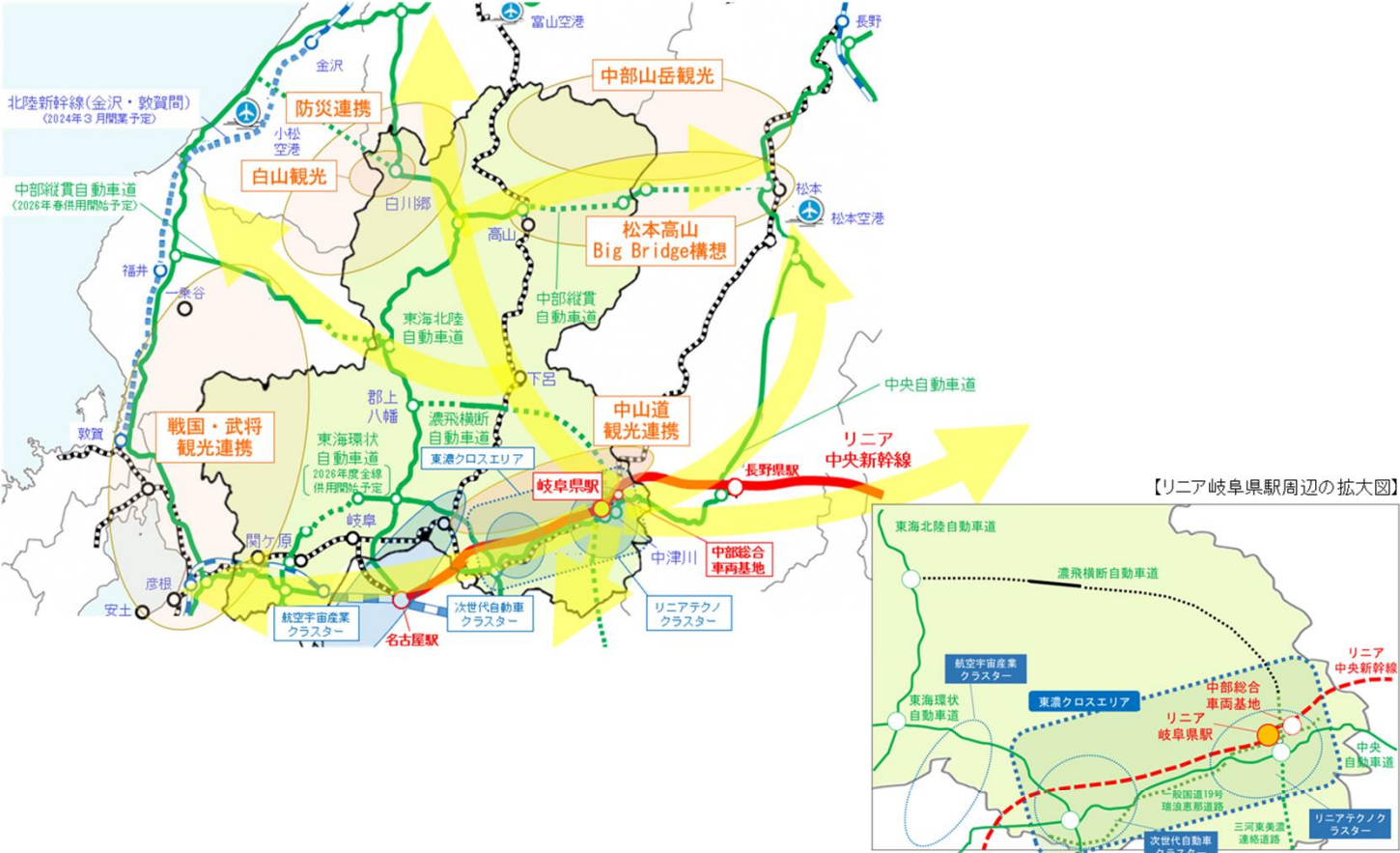
1. 【飯田市】リニア時代を見据えた21世紀型の新しいまちづくりを展開【継続】
2. 【伊那市】産学官民連携によるまちづくりを推進【継続】
3. 【駒ヶ根市】リニア開業を見据えた関係人口増に向けた中心市街地の再構築【継続】
4. 【下伊那北部組合(5町村)】リニアを見据えた北部まちづくり構想の推進【継続】
5. 【喬木村】リニアガイドウェイ保管ヤードの跡地利用【新規】
6. 【長野県】リニア駅近郊のグランドデザインを策定【新規】



岐阜県資料 抜粋

実現したいビジョン

○岐阜県の持続可能な地域づくりを戦略的に進めるため、「産業振興」、「観光振興・まちづくり」及び「基盤整備」の取組みを通じて、リニア開業効果を岐阜県駅から東美濃地域、県内全域、そして隣接県へ最大限に波及させる。



■地域の特性に応じたクラスターの形成

- ・総合車両基地を核としたリニアクラスターの形成(1-1)
- ・バッテリー等の開発強化に向けた次世代自動車クラスターの形成(1-2)
- ・航空機部材の生産強化に向けた航空宇宙産業クラスターの形成(1-3)
- ・優れた交通アクセスや強固な地盤を活かした物流中枢機能の誘致(1-4)
- ・イノベーション創出に向けたスタートアップ、ベンチャー企業の呼び込み(1-5)

■東西南北軸を形成する道路ネットワークの整備

- ・濃飛横断自動車道の全線開通に向けた事業推進(2-1)
- ・東海北陸自動車道の四車線化促進(2-2)
- ・中部縦貫自動車道の全線開通に向けた事業促進(2-3)
- ・東海環状自動車道の事業促進及び四車線化促進(2-4)
- ・三河東美濃連絡道路の事業化(2-5)
- ・一般国道19号瑞浪恵那道路の整備促進(2-6)
- ・東濃西部都市間連絡道路の整備推進(2-7)
- ・東濃東部都市間連絡道路の整備推進(2-8)
- ・その他のリニア関連道路ネットワークの整備促進(2-9)

■都市代替機能の誘致

- ・本社機能移転やサテライトオフィスの誘致(3-1)
- ・大規模災害時のバックアップ機能の誘致(3-2)

■新たなまちづくり(「森のまちづくり」)

- ・岐阜県の東の玄関口となる岐阜県らしいリニア駅・周辺整備(4-1)
- ・職の選択肢の拡大や教育の充実等による地域を担う人づくりの推進(4-2)
- ・リニア開業を見据えた沿線自治体の新たなまちづくりの推進(4-4)
- ・イノベーション創出に向けたスタートアップ、ベンチャー企業の呼び込み(1-5)〈再掲〉

■シームレスな交通体系の構築

- ・リニア岐阜県駅を起点とした二次交通の強化(5-1)
- ・次世代技術の導入による新モビリティの整備(5-2)

■DXによる生活環境整備

- ・DXを活用した安心・便利な生活環境の整備(6-1)
- ・DX推進に不可欠な高速通信ネットワークの整備(6-2)

■新次元の地方分散への対応

- ・首都圏在住者等の移住を促す効果的な情報発信(7-1)
- ・Uターンをはじめとする県内就職の促進(7-2)
- ・移住定住・二地域居住の促進(7-3)
- ・子育て支援の充実(7-4)

■広域的交流連携の推進

- ・リニア岐阜県駅を中心とした観光振興(8-1)
- ・東西南北観光軸の形成に向けた中山道観光連携(8-2)
- ・松本高山Big Bridge構想の展開(8-3)
- ・多彩な観光資源を有する白山を中心とした広域観光(8-4)
- ・戦国・武将観光連携(8-5)
- ・インバウンドの促進(8-6)
- ・サステナブル・ツーリズムの促進(8-7)